



日光寺を見学したツアー参加者＝館山

# 美術散歩ツアーに20人

安房に点在画家・彫刻師の作品・足跡巡る

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会とNPO法人安房文化遺産フォーラムが共催した「安房の美術散歩ツアー」がこのほどあり、同保存する会のメンバーを中心に約20人が参加し、江戸期から昭和にかけての安房にゆかりのある画家や彫刻師などの作品や足跡を巡った。

ツアーでは、まず鴨川市郷土資料館で同市生涯学習課の石川丈夫課長から、外房の風景を多く描

いた洋画家の安井曾太郎や波と龍を彫らせたら関東一と名を轟かせた彫物師・波の伊八についての講義を受けた。

その後、安井が滞在し「外房風景」を描いた画家ゆかりの宿と呼ばれる同市大海の江澤館を見学。

続いて、南房総市白浜地区の下立松原神社で寺崎武男絵画館「海の幸」を描いた青木繁と恋人の福田たねが滞在した館山市伊戸の日光寺では、波の伊八の欄間彫刻「波と龍」を見て回った。

ツアーの最後は、アロハガーデンに立ち寄り、入り口の門扉レリーフ「海の幸」を眺め、美術散歩を締めくくった。

房日新聞  
2019.4.18